

アジア国際法学会日本協会第4回研究大会のご案内
— 2013年6月23日、東洋大学白山キャンパス —

アジア国際法学会日本協会は、第4回研究大会を下記のように開催します。

日時：2013年6月23日（日）10時～18時（受付9時30分～）

会場：東洋大学白山キャンパス1号館3階1305教室（〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20）

研究大会には、国際法・国際人権法の第一人者であるフィリップ・オルストン教授（ニューヨーク大学）を招き、難民、移民、外国人労働者、無国籍、人身売買などの「人の移動」の観点から、アジア・太平洋地域における国際法の正統性と実効性の問題を取りあげます。アジア・太平洋地域において、国際法の正統性と実効性をどのように高めていくことができるのか。懐疑的なまなざしが向けられることの多い国際人権保障の分野に焦点を当て、この課題についての理論的・実践的な考察を深めます。皆さま、ぜひご参加ください。

プログラム：

午前の部：10時00分～12時30分

テーマ：Efficacy and Legitimacy of the International Human Rights Protection in Asia

アジア地域に人権保障の枠組みが構築されてこなかったこれまでの実情を実証的に省察し、ASEANで進行中の制度実践を批判的に読み解きながら、今後の域内人権保障の方向性を探ります。

モデレーター：坂元茂樹（神戸大学教授）

報告者：フィリップ・オルストン Philip Alston（ニューヨーク大学教授）

勝間靖（早稲田大学教授）

ラフェンディ・ジャミン Rafendi Djamin（ASEAN政府間人権委員会インドネシア代表）

使用言語：英語（和訳資料を配付します）

午後の部：14時30分～18時00分

テーマ：人間の越境移動と国際法の役割

国境を越える人の移動は、アジア地域における重大な人権問題として認識されるようになってきました。本セッションでは難民、移民、国籍、人身売買等の側面に焦点を当て、その実相と国際法の役割について考察します。

モデレーター：上柳俊郎（弁護士・東京駿河台法律事務所）

報告者：鳥居淳子（成城大学名誉教授）：「アジア諸国から来日して難民認定申請をする人々」

江黒早耶香（弁護士・シティユーワ法律事務所）：「EPAにおける看護師・介護福祉士候補者の受入れ問題と、経済成長戦略としてのアジアにおける人の移動」

ダグラス・マクレーン Douglas MacLean（フルブライト研究員及びジョージタウン大学法学者・東京大学難民移民ドキュメンテーションセンター（CDR）所属）：“Commercial Marriage Trafficking: International Legal Challenges in Addressing a Rising New Form of Human Exploitation”

山田美和（アジア経済研究所新領域研究センター 法・制度研究グループ長）：「メコン諸国における人身取引問題にかんする二国間覚書の比較分析——二国間覚書の限界と可能性——」

討論者：申恵丰（青山学院大学教授）

使用言語：日本語／英語（和文資料を配付します）

新旧理事長挨拶（18時00分～18時15分）

レセプション（18時30分～19時30分）

夕食会（19時30分～21時30分）

<ご案内>

- (1) 登録方法：アジア国際法学会日本協会会員の方は、5月初旬にお送りする返信用葉書にてご登録ください。会員でない方は、日本協会ホームページより6月16日(日)までにご登録ください。ホームページでの登録受付は、5月初旬に開始します。
- (2) 傍聴料：アジア国際法学会日本協会会員でない方は、傍聴料として1000円を申し受けます。日本協会の団体会員ご所属の方およびアジア国際法学会会員の方は、無料です。
- (3) お問い合わせ：アジア国際法学会日本協会・研究大会事務局 (asiansil-conference@nifty.com) までお問い合わせください。



- 都営地下鉄三田線「千石」駅 A1 出口から「正門・西門」徒歩 8 分
- 都営地下鉄三田線「白山」駅 A3 出口から「正門・南門」徒歩 5 分、A1 出口から「西門」徒歩 5 分
- 東京メトロ南北線「本駒込」駅 1 番出口から「正門・南門」徒歩 5 分
- 東京メトロ千代田線「千駄木」駅 1 番出口から「正門・南門」徒歩 15 分
- JR 山手線「巣鴨」駅南口から「正門・西門」徒歩 20 分
- 都営バス 10 分（「浅草寿町」行「東洋大学前」下車）